

総合的な学習の時間学習指導案

指導者T1 高石 洋平

指導者T2 松葉 伸恵

- 1 日時 令和4年10月21日(金) 第5校時
- 2 場所 6年生教室
- 3 学年 第6学年 男子15名 女子10名 計25名
- 4 単元名 「神石高原町の『空き家問題』に取り組もう！」
- 5 単元について

○単元の目標

神石高原町が抱える「空き家問題」について調べ、神石高原町の「空き家バンク」の施策や現状、課題等について、役場の方やNPO法人、地域の方たちにインタビューをしたり、実際に空き家を見学したりする等の体験活動を行い、探究的・協働的な学習を通して、神石高原町が抱えている課題や、それらに全力で取り組んでいる人々の思いに気付き、自分たちも地域の一員として「空き家問題」を自分事として捉え、自分たちができることを考え、発信する中で、それぞれが課題を解決するための「最善解」を見出すことができる。

○児童観

本学級の児童は、総合的な学習の時間において、「神石高原町の空き家問題」について調べる学習や広める活動に取り組んできた。

児童は、1学期に「空き家問題」という課題に対して神石高原町が行っている「空き家バンク」制度に関心をもち、役場の方やNPO法人(Nina)の方から、「空き家問題」の現状や課題、「空き家バンク」制度の内容や特色等について学び、「三和小学校の6年生にも一緒に考え、協力してほしい」と依頼を受け、「自分たちが協力できることはないか」について検討を重ねてきた。2学期には、実際に空き家バンクに登録されている家屋に見学に行ったり、他の市町の「空き家問題」に対する取組について学んだりすることを通して「空き家再生計画」を立案することを目指して、活動に取り組んできた。

本学級の児童に、総合的な学習の時間についてのアンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。(肯定的評価/25人中)

課題 発見力	1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつめています。	20
	2	地域の方のために自分にできることを考えています。	22
	3	友達や、地域の方がもっている悩みを解決したり、願いをかなえてあげたりしたいと思います。	18
課題 解決力	4	解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えそうかを考えることができます。	17
	5	課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	18
	6	課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	19
	7	たくさんの資料から、さまざまな情報を集めることができます。	16
	8	集めた情報から、必要な情報を選んで、調べたことをまとめることができます。	18
	9	調べてわかったことを、わかりやすい方法(図、グラフ、表など)を考えてまとめています。	20
	10	調べたことを比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。	14
	11	友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	22
	12	発表する相手を考えて、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	18
	13	自分の考えを進んで伝えていきます。	19

	14	友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくろうとしています。	16
振り返り力	15	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	22
	16	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	20

アンケートの結果から、課題解決力の「たくさんの資料から、さまざまな資料を集めることができます。」「調べたことを比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。」の項目において、肯定的に回答する児童の割合が比較的低かった。情報を集める上で材料の見通しをもたせたり、複数の資料を比較、仲間分けする際の視点を捉えさせたりするための指導が不十分であったと考えられる。

また、「友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくろうとしています。」の項目においても、肯定的に回答する児童の割合が低かった。児童は自分の考えを発表することはできていたが、自分の考えを一方向的に伝えてしまったり、お互いの意見に対して反応できなかったりするなど、双方向の話し合いを行うための指導が不十分であったと考えられる。

その一方で、課題発見力の「地域の方のために自分にできることを考えています。」の項目では肯定的な回答をする児童が多かった。単元の導入で、「神石高原町は『空き家バンク』という定住促進のための制度を設定しているにもかかわらず、なぜ利用者が増えないのだろう。」という課題に、児童が関心をもつことができたのだと考える。

また、課題解決力の「友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています」、振り返り力の「学習の振り返りをするときには、『どこまで分かったか』、『学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由』を考えています」の項目でも、肯定的な回答をする児童が多かった。課題解決力や振り返り力については、他教科でも、課題ペア学習やグループ活動を行っていることもあり、自分の意見を伝えることへの抵抗が少なく、前向きに活動に参加できていることが考えられる。振り返り力については、他教科でも同じ視点で振り返りを行っていることで、児童は見通しをもって取り組んでいると考える。

○単元観

本単元では、「空き家問題」を通して、神石高原町が抱える問題や、それに対して取り組んでいる人々の思いや願いに気づき、地域の課題を自分事として捉え、自分たちにできることで地域に貢献したいという意欲や心情を育てていきたい。その思いのもと、様々な方法で課題解決学習を進めながら、自分たちの力で最善解を導き出せるような学習活動をねらいとしている。

○指導観

指導に当たっては、課題発見力・課題解決力・振り返り力を育成するために以下の工夫を取り入れる。話し合う際に、「どういった視点に注目して聞くか。」「自分が相手だったら、どのように伝えてもらえば、よく分かるか。」等の相手意識をもてるような指導を行っていく

課題発見力	まず、神石高原町内の「空き家バンク」制度について調べることで、「空き家問題」に対する興味や関心を高める。そして、役場の方やNPO 法人の方から神石高原町の「空き家問題」の現状や課題について聞くことで、「空き家バンク制度という定住促進のための制度があるのに、なぜ利用者が増えないのだろう」という疑問をもち、課題を解決するために、自分たちにできることはないかという考えをもって、意欲的に行動できるように取り組ませていく。
課題解決力	調べたことについては、整理し可視化させたり、グループでアドバイスをし合ったりすることで、今自分たちのほしい情報を得られているのか、次に自分たちにはどんな情報が必要なのかを考えさせていく。また、知り得た情報をお互いに交流し合い、自分たちの情報収集や整理分析に役立てられるようにする。

振り返り力	振り返りの時には、「どこまで分かったか」「学習方法でうまくいったことや失敗したこと等の理由」「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」等の視点を与え、課題に対する改善点について考える等今後の学習を見通した振り返りとなるようにする。また、学習の進捗や状況に応じて、ショートスパンの振り返りとロングスパンの振り返りを書かせることで、それぞれの活動での思考の変化や単元を通しての自分の変化について客観的に気付くことができるようにする。
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

また、T2は、学習に集中することが難しかったり、困り感を抱えたりしている児童の個別指導にあたる。

6 評価規準

評価 の 観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	本校で付けた い資質・能力	知識、技能、 探究的な学習のよさの理解	課題の設定、情報の収集、 整理・分析、まとめ・表現
		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単 元 の 評 価 規 準	<p>①神石高原町が抱える人口減少の問題と、定住促進を目指した「空き家バンク」制度の取組について理解している。</p> <p>②相手意識をもって、伝えるための具体的な方法や、「空き家問題」に対して自分たちにできることについて、相手に伝わりやすい方法でまとめる技能を身に付けている。</p> <p>③「空き家問題」について考えることを通して、町に暮らす人々の思いについて理解したことは、探究的に学んだことによる成果であることに気付いている。</p>	<p>①神石高原町の抱えている課題に気付き、自分たちにできることについて考えることができている。</p> <p>②「空き家バンク」制度に対して、どのような方法で協力できるのかを考え、活動までの行程を立てている。</p> <p>③「空き家問題」に対して、「再生案」を考え、意見交流を通して、自己の考えを整理分析している。</p> <p>④自分の考えた案について、自分の言葉で相手に伝わるようにまとめている。</p>	<p>①分かったことや、自分の学び方の成長、学んだことの自分にとっての意味、学んだことどうしの関わりについて振り返ろうとしている。振り返った中から、次の学習の課題や活動について考えようとしている。</p> <p>②探究していく中で、友達の追究の状況、困っていること等を想像して関わり、相手のことを考えた行為を自ら進んで行おうとしている。</p> <p>③「空き家問題」への協力について、どうすればよいか自分なりの「最善解」を見出そうとしている。</p>

7 単元におけるルーブリック（思考力、判断力、表現力等）

	A	B	C
項目	「空き家問題」に対して、自分たちができる取組を考え、友達の案と比較して検討することを通して、共通する良さや違いに気付いている。	「空き家問題」に対して、自分たちができる取組を考え、友達の案と比較して検討することができる。	「空き家問題」に対して、自分たちができる取組を考え、友達の案と比較して検討することができていない。

8 主な学習活動と評価規準（全 35 時間）

★=立ち止まりポイント

（本当にこれでいいのか、壁にぶつかったときどうすればいいのか考える場面）

時 数	主な学習活動	知	思	態	評価方法
4	<p>1 学期</p> <p>【課題設定】</p> <p>○単元について、興味・関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家をリノベーションして活用する等の事例を通して、空き家について関心をもつ。 ・神石高原町の「空き家バンク」制度について興味をもって調べ、あまり活用されていない現状を知る。 <p>【第1課題】</p> <p>神石高原町の「空き家バンク」制度の利用者が増えないのは、なぜなのだろうか。</p> <p>【情報収集】</p> <p>★インターネット等だけでは分からないことがあり、実際に「空き家バンク」制度に関わっている方から話を聞く必要性に気付く。</p>			①	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察
6	<p>○神石高原町の「空き家問題」について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神石高原町役場の方、NPO 法人 (Nina) の方から、「空き家バンク制度」の概要や、神石高原町の「空き家問題」に対する現状や課題について話を聞く。 <p>○単元テーマを決めて、神石高原町の「空き家問題」について協力を要請されたことから、自分たちにできることについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住みやすい家のアイデアを出し合いたい。 ・実際に空き家を見学して、「住みやすい」と思ってもらえるような再生案を考えたい。 <p>単元テーマ</p> <p>神石高原町の「空き家問題」に取り組もう！</p>	①	①		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察

<p>2学期 【第2課題】 神石高原町の「空き家問題」に対して、どのように協力すればよいのだろうか。</p> <p>★どのように協力すれば、神石高原町に協力できるかについて考える上で、他県や他市町の事例について調べる必要性に気付く。</p> <p>★空き家の再生計画を立案する上で、実際に「空き家バンク」に登録されている家屋を見学することの必要性に気付く。</p> <p>4 ○家屋を見学するための行程を立てる。</p> <p>6 【情報収集】 ○他の地域を調べる計画を立てる。 ○他の地域が「空き家問題」に対して、どのような取組を行っているかをインターネットで調べたり、インタビューして話を聞いたりして、自分たちが取り入れられることについてまとめる。 ○実際に空き家を見学することで、家屋だけではなく、景観等の付加価値についても紹介すればよいことに気付き、どのように「空き家バンク」に登録されている家屋を再生できるかについて検討する。 ○実際に空き家を購入した人から話を聞く。</p>				
<p>12 3</p> <p>【整理分析】 ○自分たちが考える「空き家再生計画」を立案する。 ★どのようにまとめたら、他者に分かりやすく伝えることができるかを考えるために、色々な人に意見を聞き、検討していく必要性に気付く。</p> <p>・それぞれのグループで成果物を作成し、検討を行う。 ・役場の方や地域の方等にアドバイスをもらう。 ・グループ別にプレゼンテーションを行い、実際に発表して感じたことや、友達からの質問やアドバイスについてまとめる。 (本時)</p> <p>○グループ内で再検討を行い、相手に伝わりやすい表現方法について考え、成果物を完成させる。</p>		<p>②</p> <p>④</p>	<p>③</p> <p>③</p>	<p>②</p> <p>・ワークシート ・行動観察 ・成果物</p> <p>③</p> <p>・ワークシート ・行動観察</p> <p>④</p> <p>・ワークシート ・行動観察 ・成果物</p>

<p>【まとめ・表現】</p> <p>○自分たちで考えた最善解の方法を成果物を通して表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にホームページに掲載したり、「空き家バンク」に申し込んだ方にパンフレットを渡したりする。 <p>○これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった方にお礼の手紙を書く。 ・付いた力や成長したこと、生活に生かしたいこと等の視点に沿って、自己肯定感を感じられる振り返りをする。 	②		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察 <p style="text-align: center;">①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

9 本時の学習

(1) 本時の目標

「空き家問題」に対して、「再生案」を考え、意見交流を通して、自己の考えを整理分析できる。

(2) 本時の評価規準

「空き家問題」に対して、「再生案」を考え、意見交流を通して、自己の考えを整理分析している。

(3) 準備物

〔指導者〕 電子黒板、タブレット

〔児童〕 タブレット、分かったこと、気付いたことをまとめたワークシート

(4) 学習の展開 (24/35 時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準及び判断基準 (方法)
<p>1 本時のめあてを確認する。 (2分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で、めあてを共有させる。 	
<p>自分たちの「空き家再生計画」を作成して、 友達との意見交流を通して、よりよい提案につなげよう。</p>		
<p>2 プレゼンテーションのルールについて確認する。(3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">プレゼンテーションのルール</p> <p>○発表者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞いている人に伝わる発表をする。 ・コンセプトに沿う提案になっているかを意識して発表する。 <p>○聞く人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からないことは質問する。 ・「私だったら」と考え、代案を出す。 ・「外観」, 「間取り」がコンセプトに合っているかについて、ジャムボードに意見を入力する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「分かりやすさ」や「伝えたいことが明確か」「魅力が伝わるか」等、聞く側の視点を明確にもたせる ・ジャムボードへの入力の視点や、「私だったら～」と代案を提示したりする等して、今後の活動につながるようにすることを事前に伝える。 	
<p>3 プレゼンテーションを行う。 (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションのルールを意識した上で発表させる。 	

<p>4 プレゼンテーションを聞いて、参考になった点や改善点について、グループで協議してジャムボードに入力する。 (20分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャムボードに、「外観」, 「間取り」がコンセプトに合っているかについて記入させる。 	<p>○「空き家問題」に対して、「再生案」を考え、意見交流を通して、自己の考えを整理分析している。 (行動観察・ワークシート・成果物)</p>
<p>5 協議した内容を発表する。 (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションのルールを意識した上で発表させる。 	
<p>6 ワークシートに、本時の学習の振り返りを書く。(5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「どこまで分かったか」や、「もっと調べてみたいこと」等について振り返りを書かせる。 	

10 板書計画

